



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

燃油高騰問題で漁協と懇談

あやべ、田谷両衆院比例候補とともに

7月23日、日本共産党市議団は党のあやべ澄子、田谷たけお両衆議院北関東比例予定候補とともに、大津、平潟の両漁協を訪問し、燃油高騰問題の実情を聞き、懇談しました。

そのうえで同専務は、燃油高騰のあおりを受け、まき網船の場合、燃油代が水揚げの2割になったと説明。「3割になったら赤信号だ」と、強い危機感を表明しました。

大津漁協では村山専務が対応し、組合員の減少、高齢化などをあげ、漁協を巻き環の厳しさを示しました。

さらに、「小型船の場合には漁に出られない船も出てくるだろう」との見方を示し「漁業者は自分で値をつけれられない。漁業にも価格保障制度を導入できないか」と提起しました。



右から、あやべ澄子、田谷たけお両衆議院北関東比例予定候補、および福田明、鈴木やす子両市議。

平潟漁協では武子組合長が対応し、「このような燃油の高騰ではどうにもならない。利子補給でも何でも良いから、早急な対応をしてほしい。そのためなら我々はどこにでも行く」と、現状の厳しさを語りました。

あやべ候補は「私



大津漁協で。左が村山専務。

どもの政府交渉で現場の声を届け、緊急の手を打つよう求めたい」と力説。田谷候補は「漁民の生活を守ることは、消費者の食卓を守る



平潟漁協で。手前が武子組合長。

ることと同じ」と語り、集会やいつせい休漁など、この間の漁協の取組みに敬意を表明しました。

市議団は「市や議会からも、燃油高への直接補助をはじめ早急な手だてを取ることを国・県に対して働きかけるよう要請したい」としています。

「米の減反は推進しない」

農業委員会でも市長が表明

7月22日、定例の農業委員会が開かれました。新委員となつて初めてというこ

いう意向が示されました。具体化はこれからで、国・県からのペナルティーも予想されるが、稲作は北茨城の農業の柱であり、生産も消費も伸ばす方策を検討していきたいと述べました。議事では、まず人事が議

先日、県内の「共産党議員の勇退を祝つ会」が催され、長年にわたつて地方議員として活躍されてきた方々のお話しを伺った。皆さん年令は70才以上だが、現役当時よりも元気で若いのは正直驚く。信念をつらぬく人は生ある限り、情熱の炎が絶えることはないのだろうか。

北茨城市議会議員
福田 明

本当の若さとは何か

原悦子の話を聞きに福島県の三春に出かけた。市原さんは現在71才。「家政婦は見た」のドラマでおなじみだが、実は俳優座出身でシリアスな舞台が得意な新劇女優である。「私の女優人生」と題した講演に続き、参加者からの質問。

「若さと美しさの秘訣は」の問いに、「挑戦する気持ちと、マンネリにならないことね。年とつて厚化粧をするとしわが目立つわよ。薄化粧で自然体がいい。恥も外聞もなく、のたうちまわつた後に本当の美しさがある」と、魅力的に答えた。

「家政婦さんの給料はいくら」については、「日給制で安いわよ。このような人たちが、最後に安心して横たわれるベットの必要。療養ベットを減らすのではなく、増やすことが大切」と指摘。最後に「風になつたお母さん」(野坂昭如作)の戦争童話を朗読。平和の大切さを熱烈に訴えかけて聴衆を魅了した。

本当の「若さ」とはいつたいいのだろうか。前向きに生きる姿勢だろうか。年令だけではないことだけは確かである。

題となりました。会長に小野真人委員が再任され、同代理には木村早苗委員が就きました。

日本共産党の鈴木孝夫妻委員は、事務局から示される農地案件の審議にくわえて、より積極的に農政問題での議論を深める場を設けてほしいと発言し、他の委員からも賛同の意見が寄せられました。



VDFを燃料に東京都目黒区自由が丘を巡回する「サンクスネイチャーバス」。住民や商店、企業の協力で運営し利用料無料です

てんぷら油で車が走る

廃食油からバイオディーゼル燃料

TOKYO油田2017プロジェクト

再利用し環境にやさしく

てんぷら油で車が走ることを知っていますか。サラダ油やごま油

など、植物油の廃油でディーゼル燃料を作り、バスやトラックなどのディーゼル車を走らせるのです。今、注目のクリーンエネルギーです。(寺田 可奈)

てんぷら油などの使い終えた植物油は、専用の装置を使うことで、バイ

オディーゼル燃料VDF(ベジタブル・ディーゼル・フューエル)や、飼料、肥料などに再資源化することができます。

化石燃料使用はCO2濃度上昇

地球温暖化の原因は、石油などの化石燃料を使うことで、大気中のCO2濃度が上昇したことなどにあります。植物油を利用すれば、化石燃料を地中から掘り起こすことを抑制できます。また植物のエネルギーの場合、排出分のCO2を植物が吸収するので増減がゼロと考える「カーボンニュートラル」効果で、

エコラブ

「廃食油を捨てるにも、CO2がでます。VDFにすれば、再利用でき環境にもやさしい。問題は、廃食油を集める仕組みです」と染谷さん。ユーズでは、首都圏の個人宅や店舗、団地、自治会などに、回収ステーションの設置をすすめて

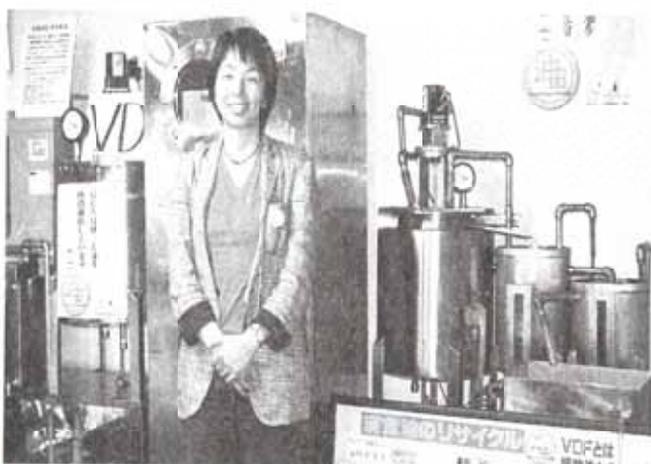
循環型社会へ利用の輪を広げたい

「廃食油を捨てるにも、CO2がでます。VDFにすれば、再利用でき環境にもやさしい。問題は、廃食油を集める仕組みです」と染谷さん。ユーズでは、首都圏の個人宅や店舗、団地、自治会などに、回収ステーションの設置をすすめて

います。近所の人や客などに、使い終えた食用油を容器に入れて持ってきてもらい、集まれば、トラックで回収します。設置しているお店では、お客さんや地域の方と結びつきが強まったと聞いています。回収は月に1〜2回で、現在の数は14

力所。年内に50カ所の設置を目指しています。自治体のとりくみとしても、墨田区、練馬区、豊島区で、廃食油の回収が始まっています。また年に10回、廃食油をユーズに送れば、1670Yuden(1Yuden=1円)と交換で

「今に『昔は石油で車が走っていたのか』と、いう時代になります。全国で廃食油のVDF化と利用の輪を広げ、自然環境を守る地域循環型社会を作りたい」と、染谷さんは語っています。



VDF製造プラントの前に立つ染谷さん

「当初は『天ぷら油で車が動くわけがない』と言われていましたが、今では都内各地でVDFを燃料にした車が走っています。首都高速道路でも、パーキングエリアの食堂の廃

油を集めてVDFにして、工事車両を走らせています」と染谷さん。100リットルの廃食油から95リットルのVDFを作ることができます。燃費は、乗用車なら1リットルで約13キロと軽油なみです。大気汚染の原因となる硫酸化物の排出もなく、黒煙は軽油の半分以下です。日本で消費される食用油は1年間で約200万トン。廃棄される廃食油は40万トン(企業から20万トン、家庭から20万トン)といわれます。

生態系のバランスをとることができません。2017年までに、東

仕掛人は、株式会社ユーズの、染谷ゆみさん(39)。VDFは、廃食油とメタノール、触媒を反応させ、精製、ろ過して作ります。どのディーゼル車にも使えます。

企業から出る廃油は回収され飼料、せっけん、塗料VDFなどにリサイクルされていますが、家庭の廃油は、固めたり吸収させたりして可燃ゴミに出すのが一般的です。しかも排水口に流す人もいて、配水管の詰まりの原因になっています。1さじの油をきれいにするには、風呂おけ20杯分の水が必要だといわれます。

